

2025 年度  
青山学院大学  
大学院理工学研究科理工学専攻  
**博士前期課程(9月)入学試験**

**各コース共通問題**  
**「数 学」**  
**問題冊子**

受験番号：	氏名：
-------	-----

[注意事項]

1. 問題冊子は表紙を除いて2ページあり、問題は全部で6題ある。6題中3題を選択して解答せよ。
2. 解答冊子は表紙と3枚の解答用紙でできている。問題冊子表紙、解答冊子表紙およびすべての解答用紙に受験番号・氏名を忘れずに記入すること。
3. 問題1題ごとに解答用紙1枚を使い、必ず解答用紙左上の枠内に問題番号を記入すること。問題番号の記入がない場合、また2つ以上の番号の記入があった場合には、解答は無効とする。
4. 解答欄が足りない場合には、当該解答用紙の裏面も解答欄として使用してよい。その場合、「裏面に続く」と表面の最後に明記すること。
5. 解答冊子、問題冊子とも必ず提出すること。

1

次の連立1次方程式を解け。

$$\begin{cases} 3x_1 - 2x_2 + 5x_3 - 6x_4 = 5 \\ 4x_1 - 5x_2 + 9x_3 - x_4 = 2 \\ -x_1 + 2x_2 - 3x_3 - 2x_4 = 1 \\ -2x_1 + 3x_2 - 5x_3 - x_4 = 0 \end{cases}$$

2

次の行列に関する以下の間に答えよ。

$$A = \begin{pmatrix} 1 & \sqrt{2} & -1 \\ \sqrt{2} & 0 & \sqrt{2} \\ 1 & -\sqrt{2} & -1 \end{pmatrix}$$

- (1) 行列  $A$  の固有値をすべて求めよ。
- (2) 行列  $A$  と相似な対角行列があればすべて求めよ。ない場合はその理由を述べよ。  
ただし、行列  $A$  と  $B$  が相似であるとは、 $B = P^{-1}AP$  であるような正則行列  $P$  が存在するときとする。
- (3) 自然数  $n$  に対して、行列  $A^{3n}$  を求めよ。

3

2変数関数

$$f(x, y) = x^3 + y^3 - 3xy$$

について、次の間に答えよ。

- (1)  $f$  の停留点をすべて求めよ。
- (2)  $f$  の極値について論ぜよ。

**4**

(1)  $f(x) = \frac{1}{x^3 + x^2 + x + 1}$  とする.

(a) 不定積分  $\int f(x) dx$  を求めよ.

(b) 広義積分  $\int_1^\infty f(x) dx$  の値を求めよ.

(2)  $D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2 \mid 9 \leq x^2 + y^2 \leq 16, y \geq |x|\}$  とする.

重積分  $\iint_D \frac{1}{x^2 + y^2 - 1} dx dy$  の値を求めよ.

**5**

(1) 次の関数の  $x = 0$  における泰勒展開（マクローリン展開ということもある）を書け. (既知の公式を利用してもよいが、使用した公式を明示的に書くこと.)

$$(i) \quad \log(1 + 3x) \quad (ii) \quad \frac{1}{(x - 3)^2}$$

(2) 次の関数  $f(x)$  に対して  $n$  階微分  $f^{(n)}(x)$  ( $n \geq 1$ ) を求め、 $n$  階微分係数  $f^{(n)}(0)$  を計算せよ.

$$f(x) = (2x + 1)^{1/2} - (2x + 1)^{-1/2}$$

(3) 小問 (2) の関数  $f(x)$  の  $x = 0$  における泰勒展開を  $x^3$  の項まで求めよ. ただし 4 次以上の剩余項の具体的な形は求めず、 $\varepsilon(x)$  と表してよい.

**6**

$a = a(x)$  を  $\left(0, \frac{\pi}{2}\right)$  上で定義された連続関数とする.  $x$  を独立変数、 $y$  を従属変数とする微分方程式

$$\frac{d^2y}{dx^2} - ay = 0 \quad \left(0 < x < \frac{\pi}{2}\right) \quad (*)$$

の 1 つの解が  $y = \tan x$  であるとき、以下の間に答えよ.

(1)  $a = a(x)$  を求めよ.

(2)  $y = C(x) \tan x$  が微分方程式 (\*) の解であるとき、 $C''(x) (\tan x)^2$  は定数であることを示せ. ただし、 $C(x)$  は 2 階微分可能な関数であり、定数関数ではないものとする.

(3) (\*) の一般解を求めよ. 必要ならば、 $\int \frac{1}{\sin^2 x} dx = -\frac{1}{\tan x} + C$  ( $C$  は積分定数) を用いても良い.